

ENUMを用いた通信サービス基盤技術の実験について

- ETJP (ENUM Trial Japan)設立 -

2003年9月9日

後藤滋樹 (JPNIC)

堀田博文 (JPRS)

石田慶樹 (WIDE Project)

- 目的

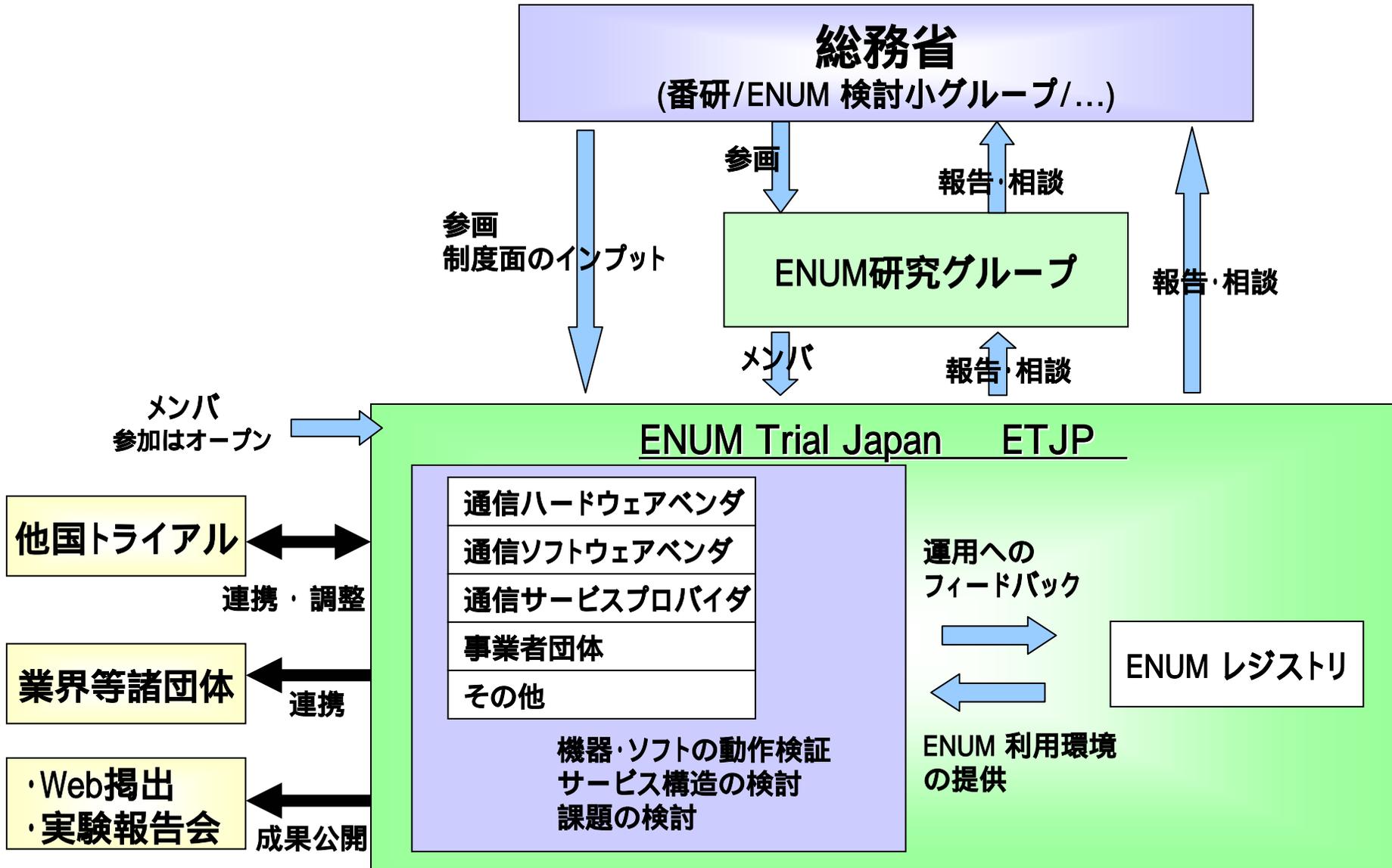
- ENUMの実験的運用を行い、それを用いてENUM利用技術の検証を進め、通信アプリケーションや通信サービスの技術検証を促進
- 諸外国のENUMトライアルとの連携により、国際的利用のための技術を実証
- 参加者にENUMに関する技術ノウハウを蓄積
- そのまま商用化することは前提としない

- 活動内容

- トライアルチーム全体として一つの成果を求めるのではなく、参加者個々が自由に技術実験できる場
- ENUMトライアル用DNSの運用
- ENUMを用いる通信アプリケーション(機器、ソフトウェア)の技術的検証
- ENUMを用いる通信サービスの技術的検証
- ENUMに関する情報の集積

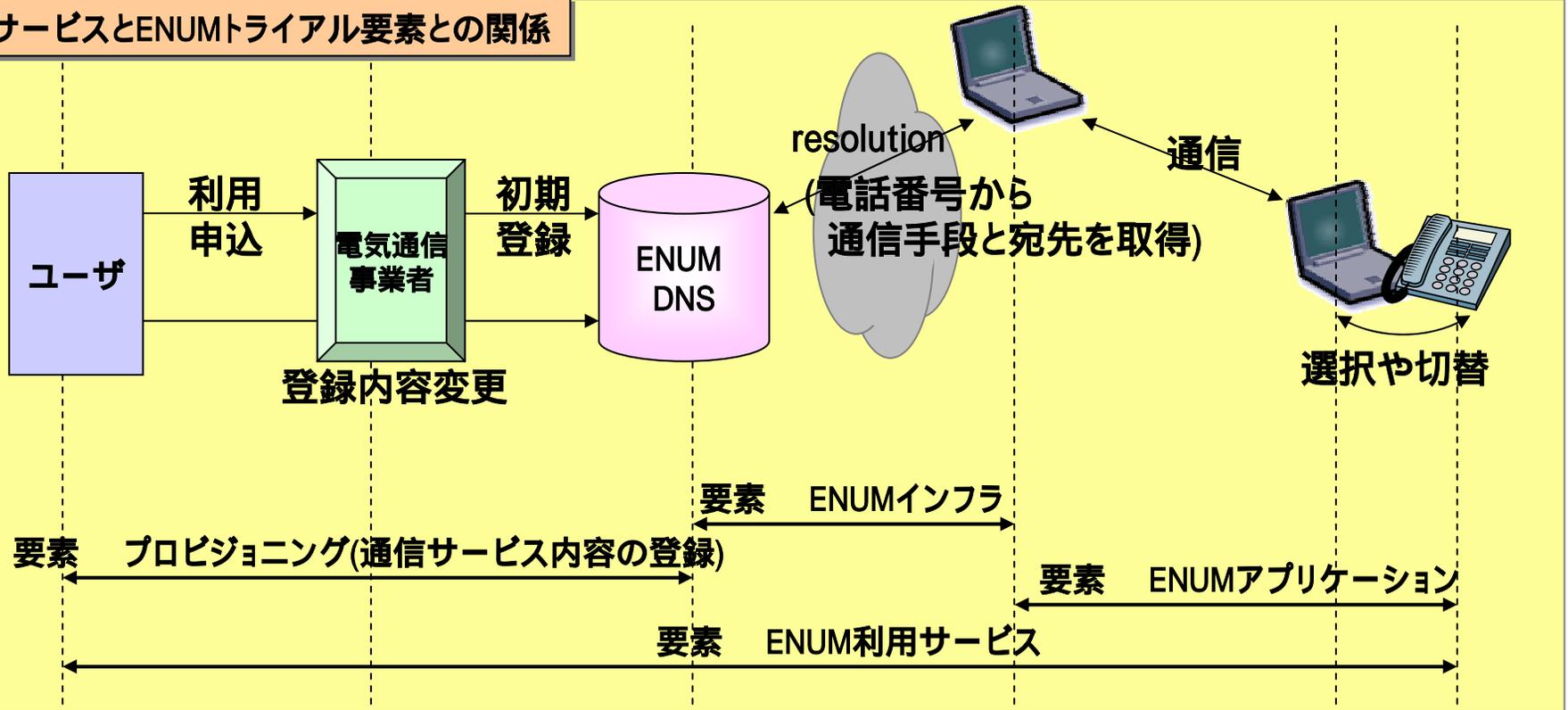
- 成果物

- 各参加者の通信機器やソフトウェアの技術的検証結果
- ENUMを用いる通信サービスの技術的検証結果
- ENUMを用いた通信サービス実現のための技術課題明確化
- ETJP自体は財産を持たず、メンバに技術ノウハウ等の知的財産を残す

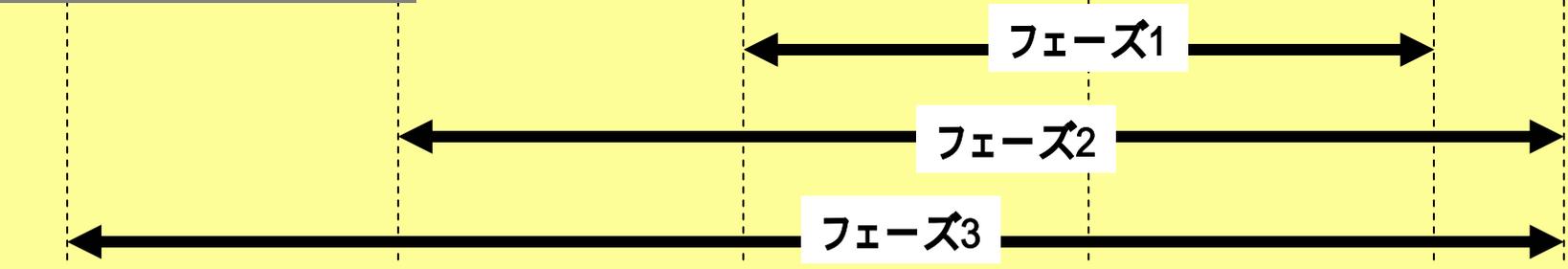


ENUMを用いた通信サービスの要素と検証範囲

サービスとENUMトライアル要素との関係



ETJPのフェーズと検証範囲





目的	最小構成のENUM DNS構築と通信アプリケーション動作の確認	ENUM DNS階層の構築とENUMを用い連携する通信サービスの技術確認	ユーザによる通信サービス契約から通信まで、統合的なサービス連携の技術確認
要素毎の確認事項	最簡形態のDNSの構築 同種通信アプリケーション間の通信 なし なし	階層的DNSの構築 異種通信アプリケーション間の通信 高度な通信サービスの実行 事業者による通信サービス内容の定義	ユーザによる通信サービス内容の申請を契機とするENUM DNSのリアルタイム更新 異種通信アプリケーション間の通信ユーザまで含んだサービス枠組みの実行 ユーザによる通信サービス内容の定義

注) 数字は前ページのトライアル要素 に対応

スケジュール(予定)



実験は参加組織がそれぞれ進めていくため、詳細なマイルストーンは定義していない

- ETJPは、活動への貢献内容を宣言することにより、いつからでもどなたでも自由に参加することができます。
 - 2003年9月10日より参加受付開始
 - 2003年9月17日午後、設立総会
- ETJPの目的と活動に賛同いただき、活動に貢献することを希望する企業、団体、個人の方は、事務局までご連絡ください。お申し込み手続きについてご説明いたします。
- **事務局**
 - JPNICとJPRSが共同で運営
 - **連絡先** : sec@etjp.jp
- **Webサイト**
 - <http://etjp.jp/>

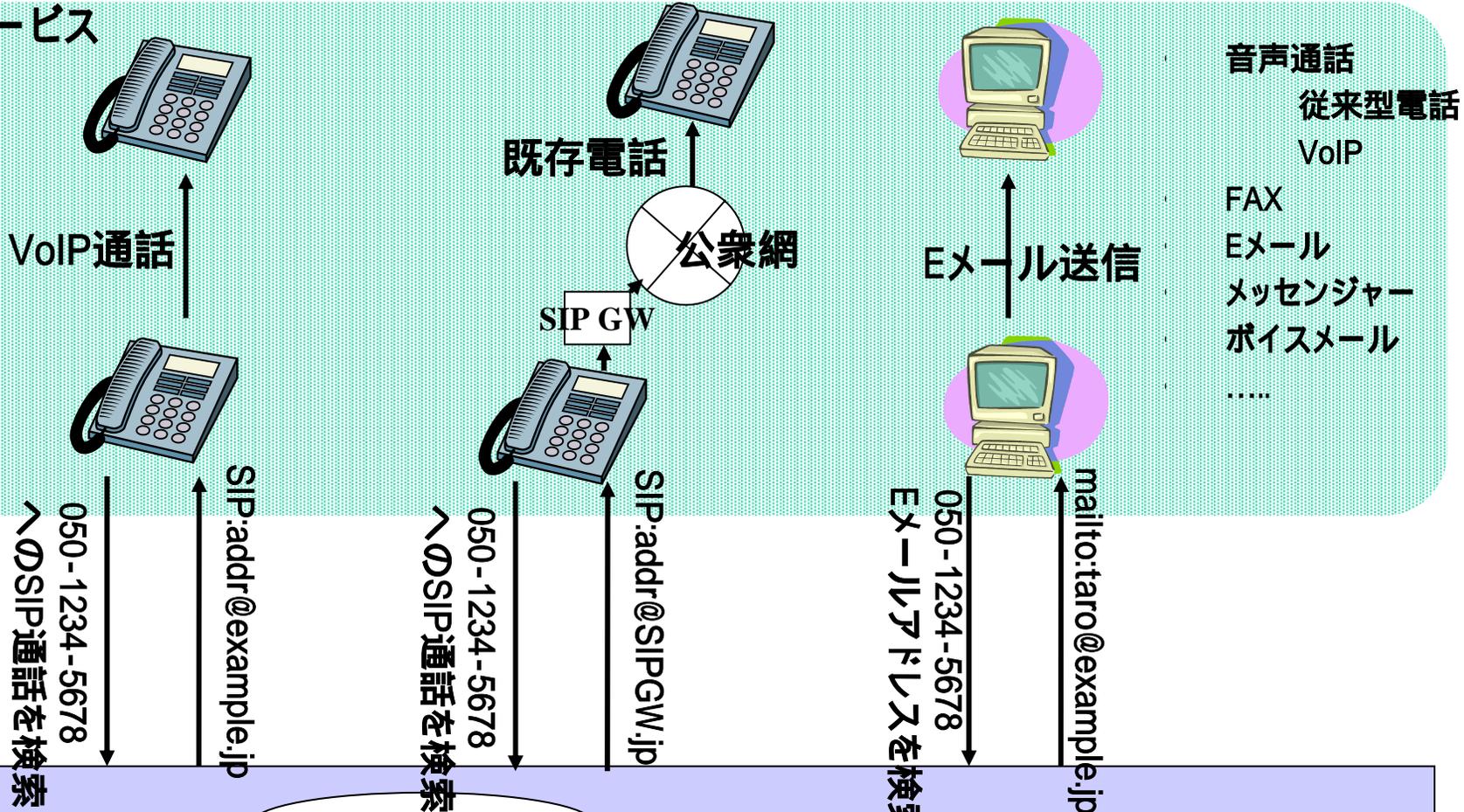
- ・ ENUMをベースとした通信のイメージ

- ・ 主要各国のENUMトライアルに対する取り組み状況

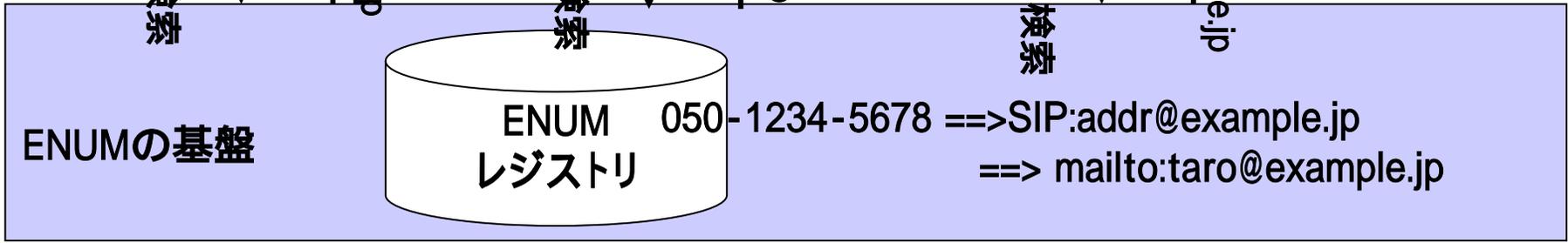
- ・ 各フェーズでの実験内容
 - フェーズ1の内容
 - フェーズ2の内容
 - フェーズ3の内容

ENUMをベースとした通信のイメージ

通信サービス



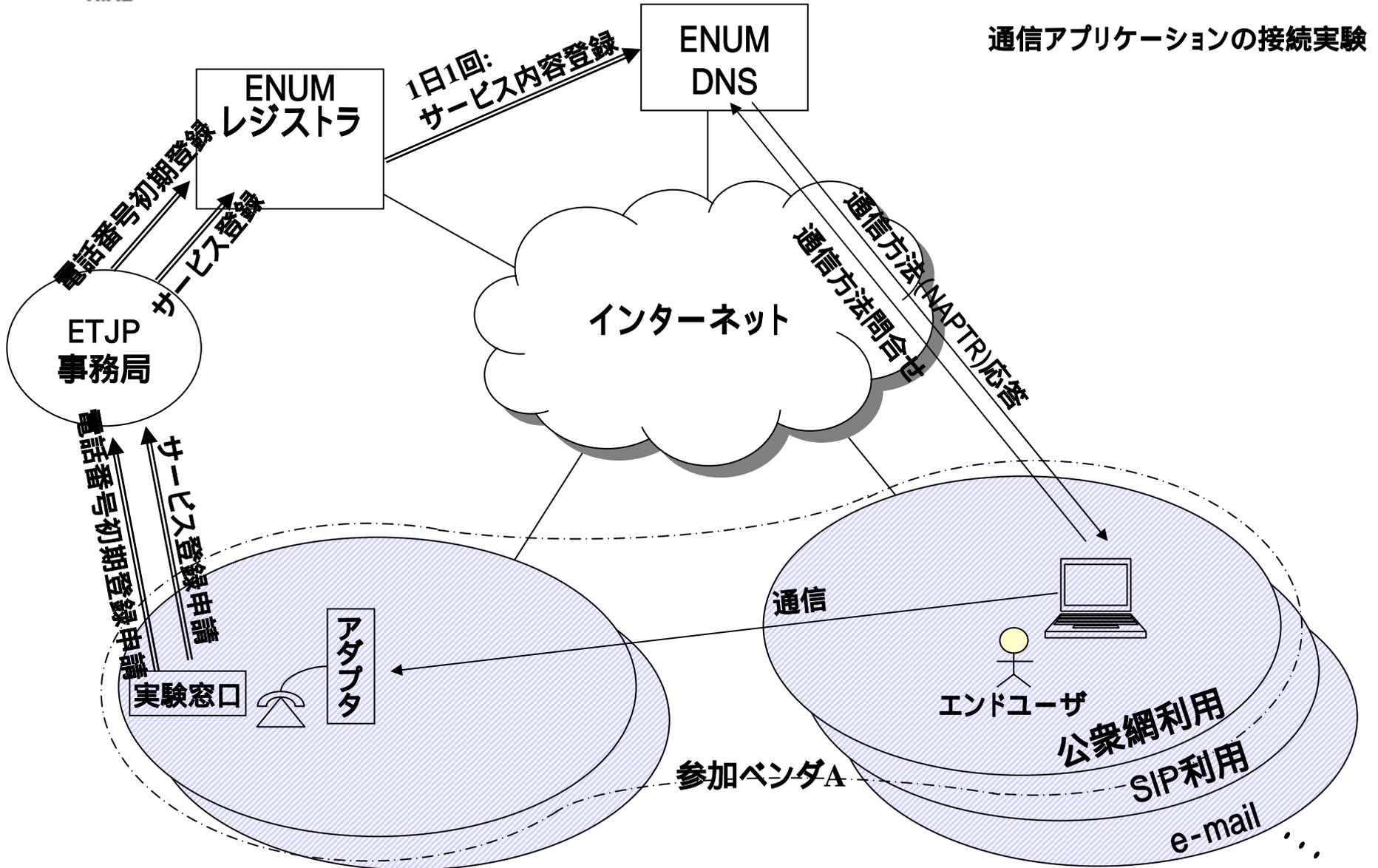
- 音声通話
- 従来型電話
- VoIP
- FAX
- Eメール
- メッセージャー
- ボイスメール
-



主要各国のENUMトライアルに対する取り組み状況

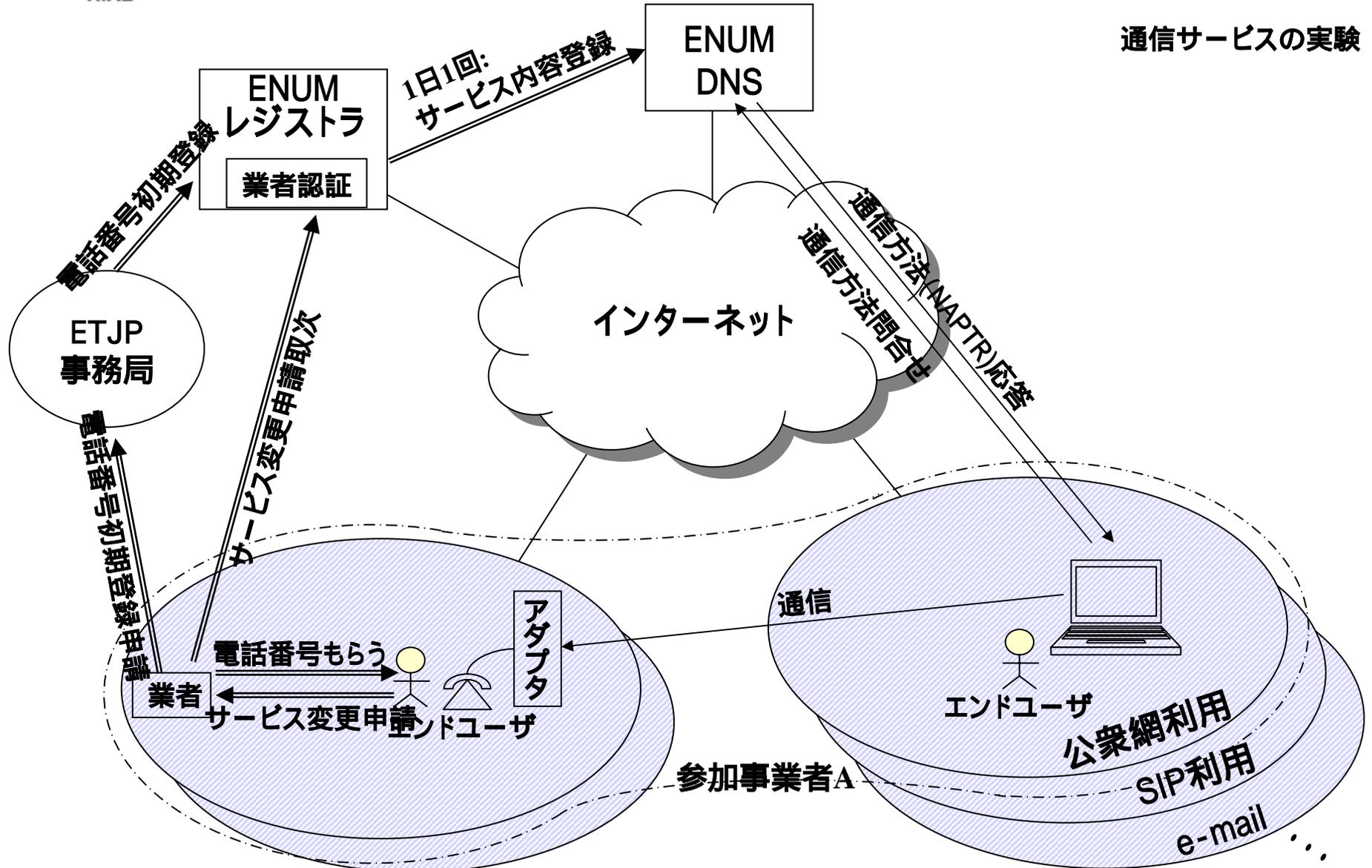
国名	体制		トライアル目的				備考
	権限受任団体	主な参加者	ENUM	アプリ	サービス	制度	
中国	China National ENUM Trial <トライアルチーム>	監督官庁 ccTLDレジストリ テレコムキャリア その他政府機関					ENUM市場研究と分析
ドイツ	DENIC eG <ccTLD>	ccTLDレジストリ ハードウェアベンダ ソフトウェアベンダ テレコムキャリア ISP					
イギリス	UK ENUM Trial Group <トライアルチーム>	監督官庁 DNSオペレータ ccTLDレジストリ レジストラ テレコム系研究所 テレコムキャリア テレコム監督機関 ISP・ASP 法律事務所					ENUM運用のための経済評価も視野内
オーストリア	Austrian ENUM Trial <トライアルチーム>	監督機関 ccTLDレジストリ テレコムキャリア ソフトウェアベンダ コンサルタント					標準評価と関連組織へのフィードバック 実現可能性の研究 (製品、マーケット)

スウェーデン、シンガポール、ロシアなども取り組んでいる
韓国、台湾もe164.arpaのdelegationは受けていないが積極的



通信アプリケーションの接続実験

通信サービスの実験



事業者C

ENUM
レジストラ
ユーザ認証

申請の数十分後:
サービス内容登録

ENUM
DNS

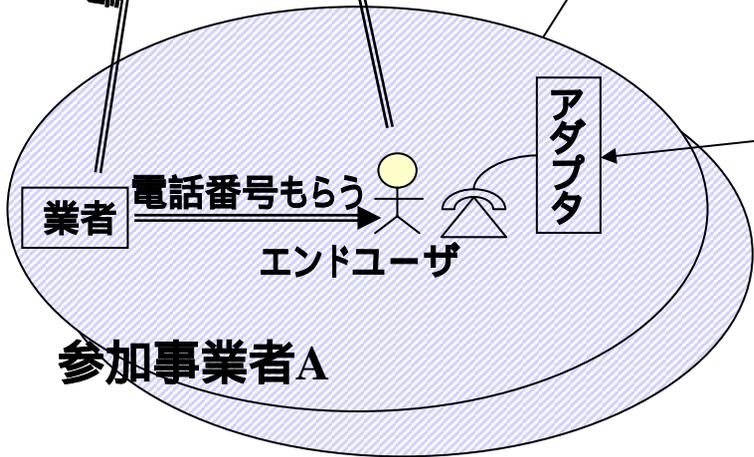
ユーザによる登録を含む通信
サービス間相互接続の実験



通信方法(NAPT)応答
通信方法問合せ

電話番号初期登録申請
& 認証キー登録

サービス変更申請



通信

参加事業者B

エンドユーザ

公衆網利用
SIP利用
e-mail